

参考資料23

分類名〔加工流通〕

農産加工品に対する消費者ニーズ

宮城県農業・園芸総合研究所

1 取り上げた理由

県内の「六次産業化・地産地消法」に基づく事業計画認定事業者等が商品開発を行う際の参考となるよう、仙台圏および首都圏の「農産物に関する消費者モニター」（以下、消費者モニター）に農産加工品に対するアンケート調査を実施し、消費者ニーズを明らかにしたので、参考資料とする。

2 参考資料

- 1) 消費者モニターが購入したことや食べたことのある農産加工品は、仙台圏では「もちや団子等の和菓子」、「梅干しや漬け物等」、「みそ」が多い。首都圏でも「もちや団子等の和菓子」が多く、他に「こんにゃく」、「パン類」、「めん類」が多い（図1）。
- 2) 農産加工品の購入理由は、仙台圏、首都圏ともに「原料が地元産」、「原料が新鮮」、「商品の味が美味しい」等、原料や商品自体に関係する理由の割合が多く、「パッケージが良い」、「価格が安い」等は低い（図2、3）。
- 3) 農産加工品を購入する際に参考とする情報源は「スーパーの店頭やチラシ」、「新聞・雑誌」、「友人・知人からの口コミ」が多かった（図4）。
- 4) 1年以上愛食・愛飲している農産加工品がある方を当該商品のリピーターと考え、1年以上愛食・愛飲している理由を調査したところ、「味の良さ」、「求めている商品」、「手頃な価格」、「産地応援」等の理由からでリピーターになっている（図5）。
- 5) 農産加工品を購入する際の価格の上限は、仙台圏、首都圏共に大手食品メーカーの商品価格と比較して「同じ価格」、「1割高」および「2割高」を合わせると約9割であり、生産者としては最大で2割高程度の価格を目標とした販売努力が重要である（図6）。
- 6) 農産加工品を購入する際の不安や不満は、仙台圏、首都圏ともに「販売場所が少ない」、「販売場所が近くにない」ことである（図7、8）。

3 利活用の留意点

- 1) 本アンケートは、当所が所管する「農産物に関する消費者モニター」仙台圏在住345名、首都圏在住253名を対象に2016年11月、郵送により実施し、回答率は仙台圏51.0%、首都圏46.6%であった。
- 2) 農産加工品の製造場所は、仙台圏モニターには宮城県、首都圏モニターには関東としてアンケート調査した。
- 3) 六次産業化・地産地消法とは、地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律（農林水産省）である。

（問い合わせ先：宮城県農業・園芸総合研究所情報経営部 電話022-383-8120）

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

6次産業化の導入・定着条件の解明と経営モデルの策定（平成28年度）

2) 参考データ

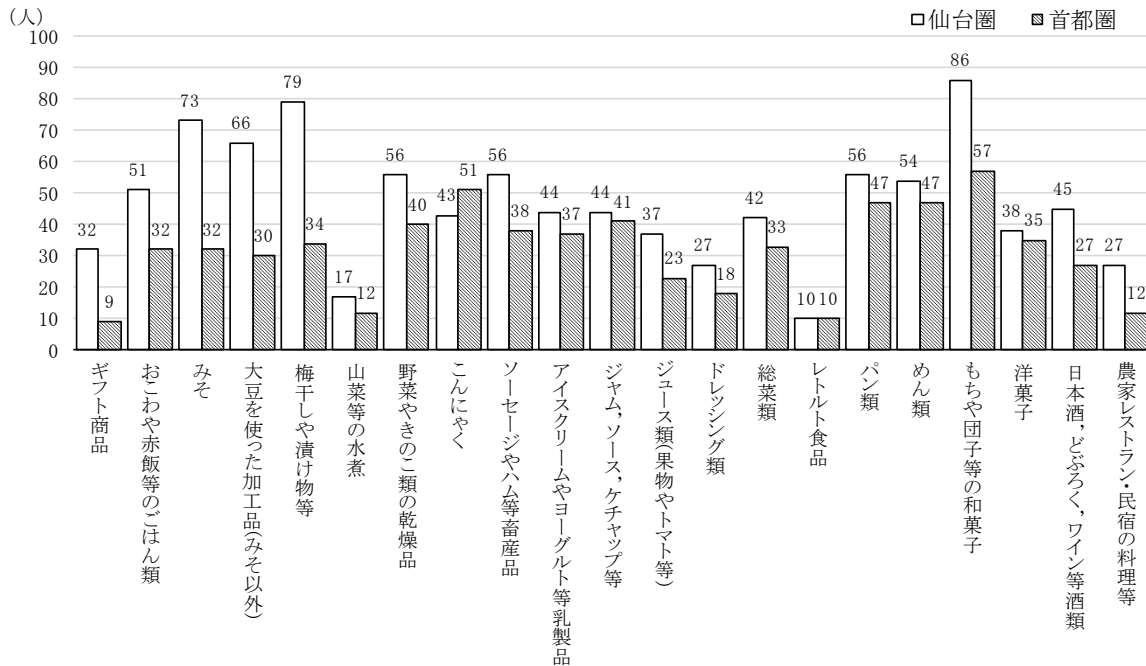


図1 購入したことや食べたことのある農産加工品

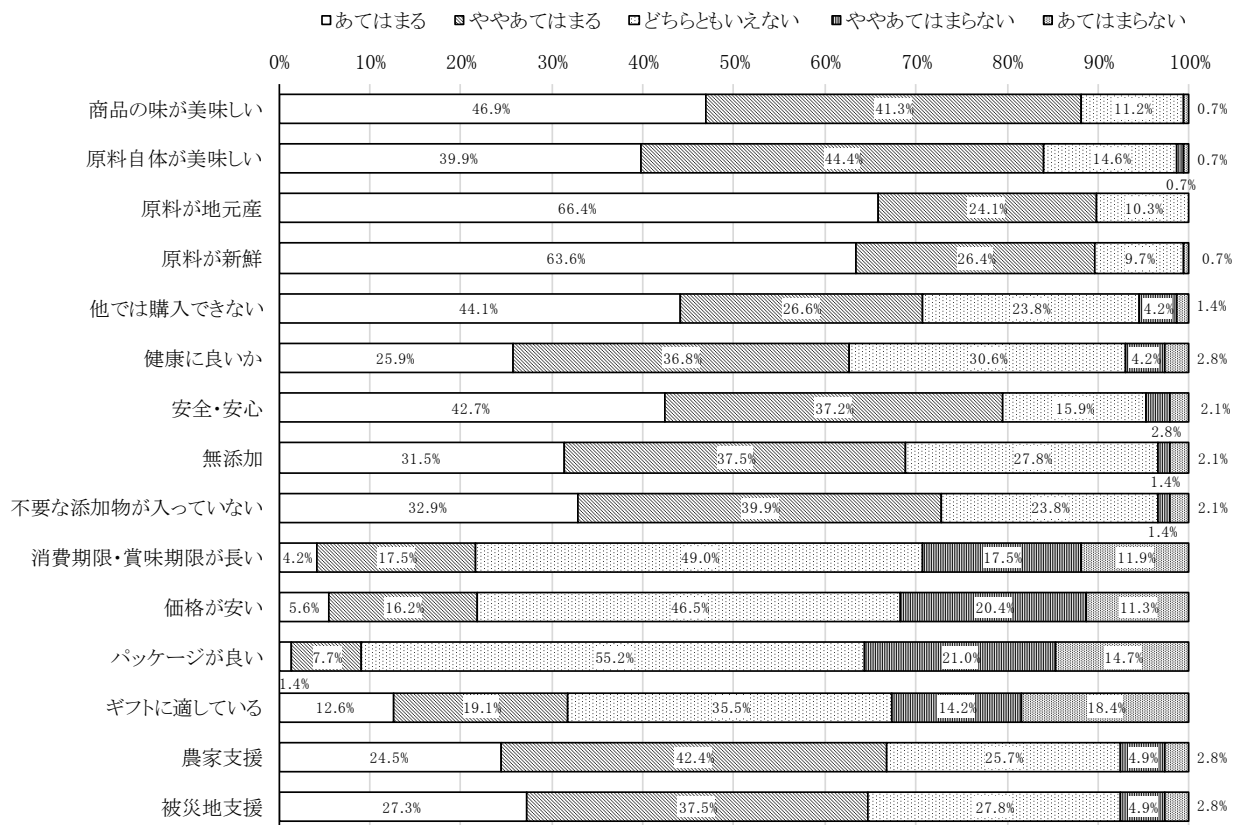


図2 農産加工品の購入理由（仙台圏）

宮城県「普及に移す技術」第92号（平成28年度）

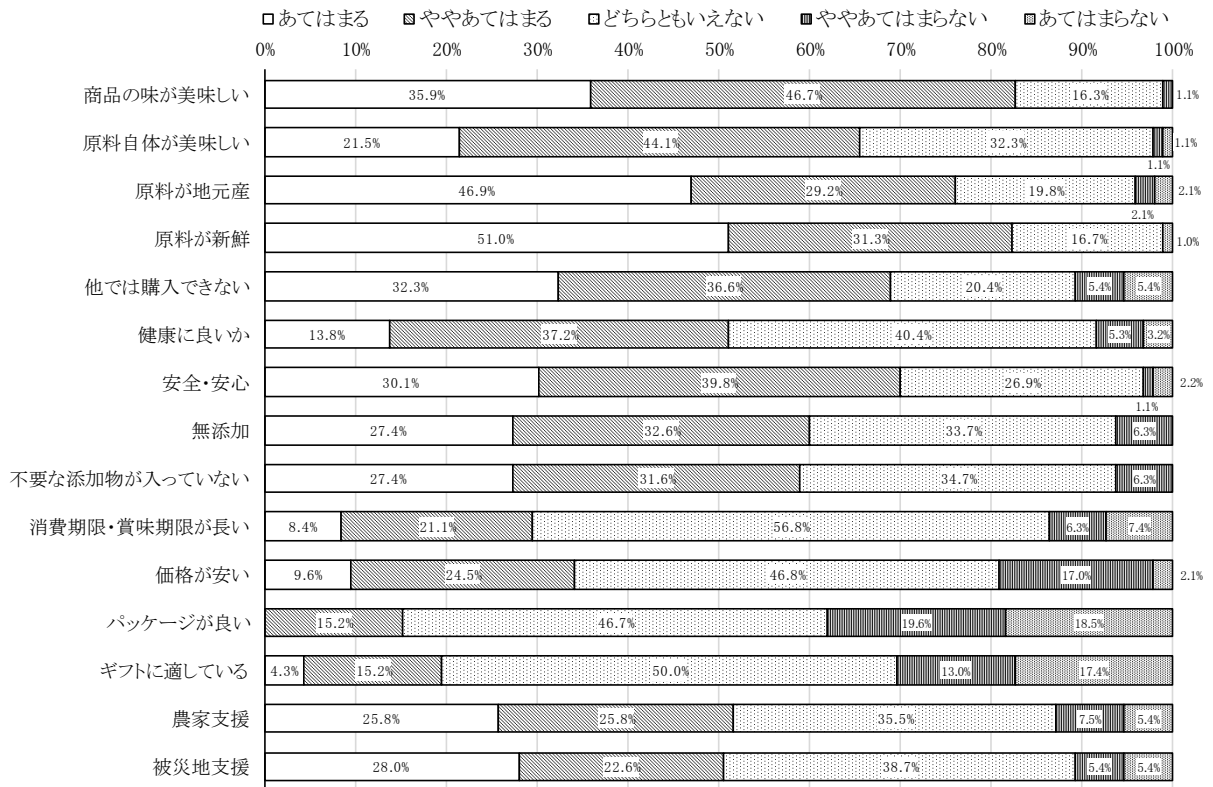


図3 農産加工品の購入理由（首都圏）

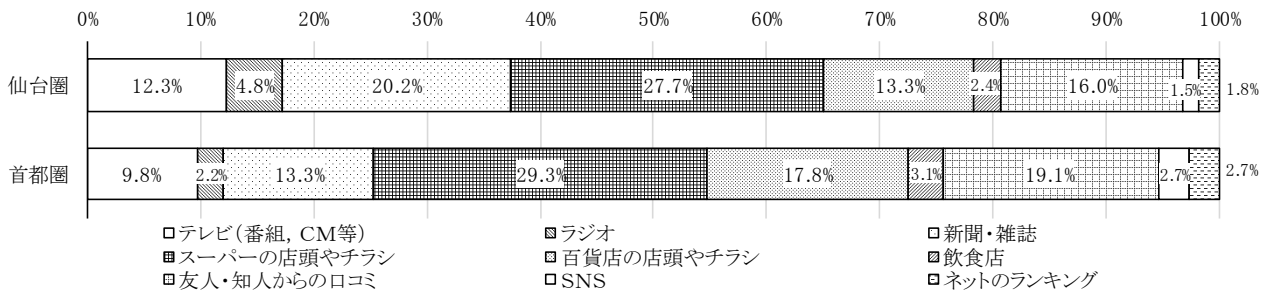


図4 農産加工品を購入する際に参考とする情報源

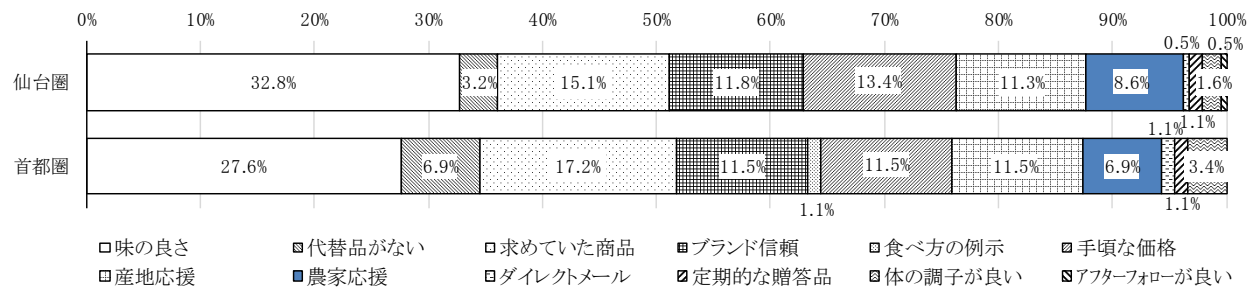


図5 愛食・愛飲している理由

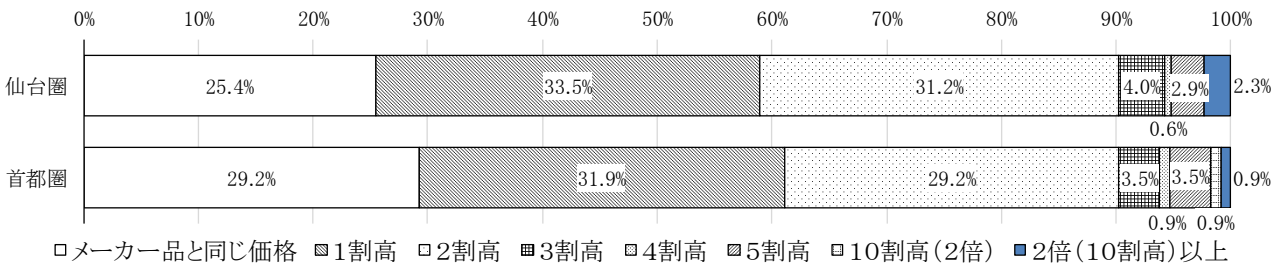


図6 農産加工品を購入する際の価格の上限

参考資料23 農産加工品に対する消費者ニーズ

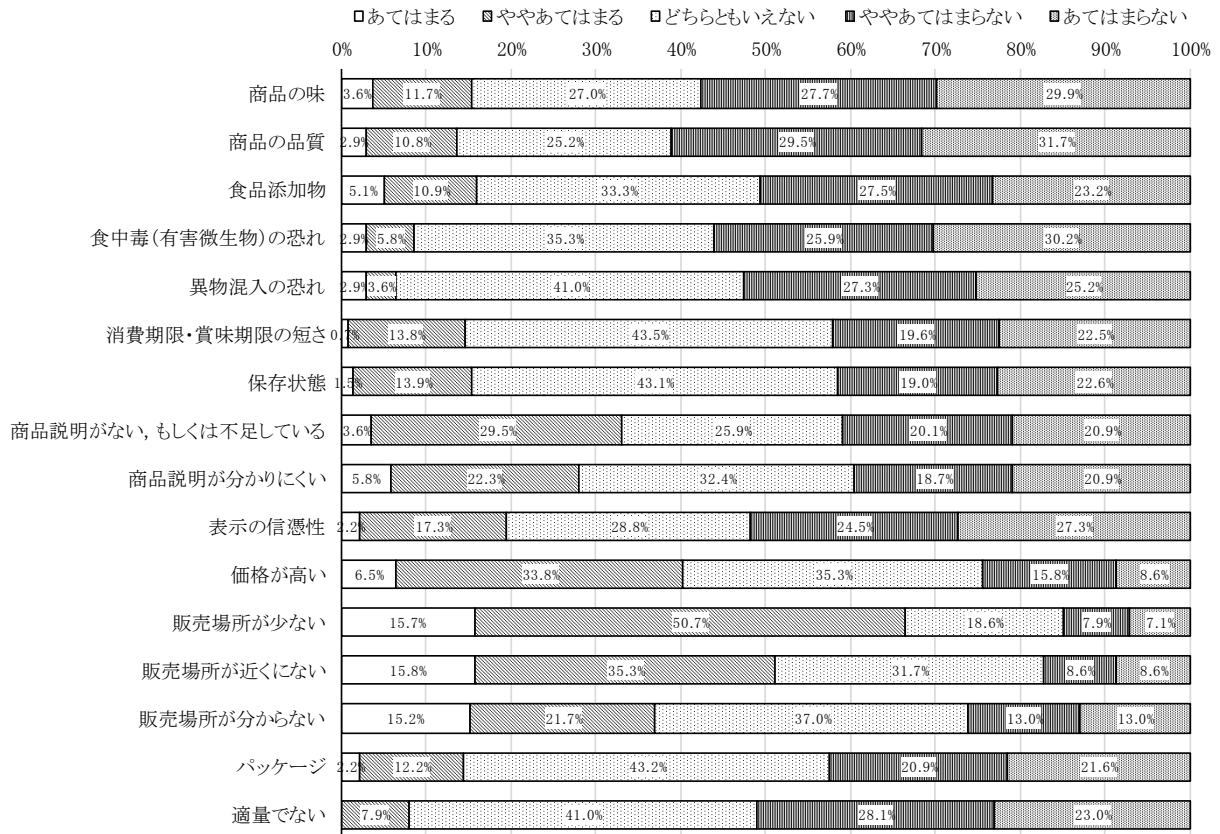


図7 農産加工品に関する不安や不満（仙台圏）

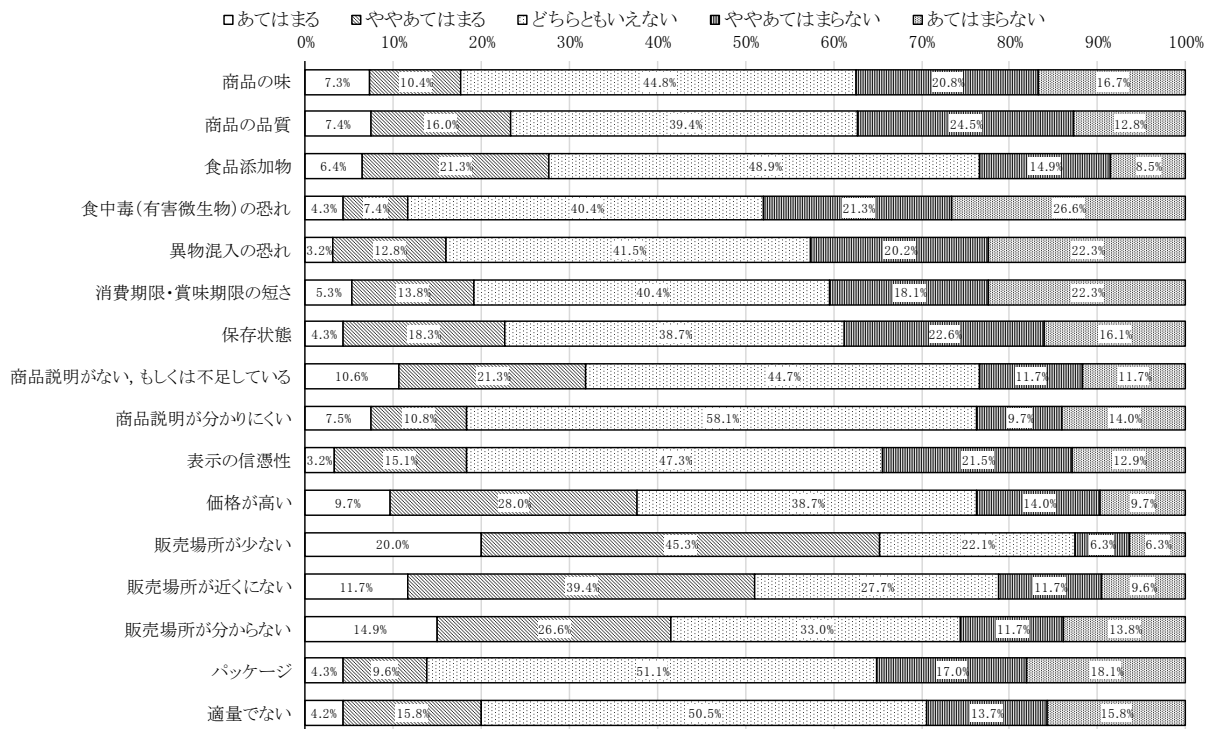


図8 農産加工品に関する不安や不満（首都圏）

3) 発表論文等

a 関連する普及に移す技術

a) 県内の「六次産業化・地産地消法」に基づく総合化事業計画認定事業者の実態 (第92号参考資料)

b その他 なし

4) 共同研究機関 なし